

四国大会実施規定

(四国軟式野球連盟)

少年・学童部

1. 正式試合について

- ①試合の回数は7回戦とする。
- ②正式試合となる回数を5回とする。
- ③5回以降7点差以上になった場合は、コールドゲームを適用する。
- ④5回以前に暗黒、降雨等試合が継続不可能となった場合は、翌日または後日、特別継続試合を行う。

2. 延長戦について

- ①7回を完了して同点の場合は、タイブレーク方式（特別継続試合）を採用する。
- ②試合が7回を終了し同点の場合は、8回よりタイブレーク方式を採用する。
- ③9回を終了して同点の場合は、抽選で勝敗を決定する。但し、決勝戦の場合は投手の投球制限を厳守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を行う。
- ④試合開始後、2時間30分を経過した場合は、新しいイニングには入らず、タイブレーク方式を採用する。

※タイブレーク方式とは

継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、二塁、三塁の走者は順次、前の打者として無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。

勝敗が決しない場合は、引き続きタイブレーク方式を行う。

3. 投手の投球制限

- ①投手の投球制限については、健康維持を考慮して1日7イニングまでとする。
- ②投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、三分の一回（1アウト）未満の場合であっても、1イニング投球したものとする。
- ③延長戦となった場合、7イニング目を投げ切った投手に限り、1日9イニングまで投球できるものとする。

4. その他

- ①日没、天候等諸問題がある場合は、大会本部役員並びに審判員等により運営方法について協議し、対応方法を決定する。
- ②本規定に定めのない事項については、全日本軟式野球連盟競技者必携に順するものとする。